

平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月24日

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月17日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

(氏名) 大谷 喜一
 (氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	126,043	9.9	7,506	9.9	7,810	7.5	4,284	16.1
25年4月期第3四半期	114,671	8.8	6,830	△7.3	7,262	△4.3	3,689	0.4

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 4,270百万円 (10.2%) 25年4月期第3四半期 3,875百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	268.77	—
25年4月期第3四半期	231.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第3四半期	101,895	41,670	40.9	2,611.50
25年4月期	95,839	38,356	40.0	2,403.43

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 41,629百万円 25年4月期 38,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	11.3	11,280	16.3	11,650	13.2	6,000	18.2	376.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	15,944,106 株	25年4月期	15,944,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	3,416 株	25年4月期	3,366 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期3Q	15,940,702 株	25年4月期3Q	15,940,743 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年5月1日～平成26年1月31日)におけるわが国の経済は、企業収益・雇用の改善とともに、設備投資、個人消費に持ち直しの動きが見られており、景気は、緩やかながら着実に回復しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aとともに、医療モールの総合開発、都市型ドラッグストアの出店を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

また、当第3四半期のうちに当社子会社の静岡調剤株式会社ほか2社の吸収合併決議をするともに、平成26年2月24日付で中規模以下の連結子会社4社を吸収合併することを決定するなど、当社グループ内の再編成を推進し、薬局運営及びグループ管理体制の改善を図っております。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,260億4千3百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は75億6百万円(同9.9%増)、経常利益は78億1千万円(同7.5%増)となり、四半期純利益は42億8千4百万円(同16.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局部門では、処方日数の長期化により、処方箋1枚当たりの売上高が上昇し、既存薬局の売上高は増収傾向で推移しております。

一方で、平成26年4月の調剤報酬改定では、24時間の患者対応、在宅調剤を要件とした調剤基本料の見直し等が含まれており、売上高に対する労務費率の上昇が見込まれることに加え、消費税率の変更による仕入コストの増大等もあり、大変厳しい事業環境となる見通しであります。

当社グループでは、引き続き、事業規模の拡大によりスケールメリットを高めるとともに、薬局職員が既存のルールに捉われることなく、調剤薬局業務の全工程について、それぞれの薬局単位で検証・再構築する「考える薬局プロジェクト」をグループ全店規模に展開して、既存薬局の収益効率の改善を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,121億1百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益は96億1百万円(同7.3%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計41店舗を出店し、4店舗を事業譲渡または閉店した結果、当社グループにおける薬局総数は597店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合に加え、医薬品のインターネット販売に対する環境変化等により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、ドラッグ&コスメティックの専門性に特化した、オリジナリティ性の高いストアコンセプトによる「アインズ&トルペ」を、都市部の特に集客力の高いエリアで展開を行っております。

「アインズ&トルペ」では、商圈・立地に対応したMDを強化するとともに、LINE(ライン)等のコミュニケーションアプリを活用した販売促進手法の比重を高めており、既存店における客数、客単価とも前年同期を上回る水準で推移しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、133億7千2百万円(前年同期比6.4%増)となり、セグメント利益は、1千2百万円(同81.1%減)となりました。

同期間においては、アインズ&トルペ三宮サンキタ通店(神戸市中央区)を出店し、郊外型店を中心に4店舗を閉店し、ドラッグストア店舗総数は58店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は5億6千9百万円、セグメント損失は3億3千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より60億5千6百万円増の1,018億9千5百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴い、たな卸資産、未収入金、土地建物等の有形固定資産及びのれんが増加したことによるものであります。

負債の残高は、27億4千2百万円増の602億2千5百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。長期及び短期借入金の残高は、36億9千9百万円減少となる118億3千1百万円となりました。

純資産の残高は、33億1千3百万円増の416億7千万円となり、自己資本比率は0.9ポイントプラスとなる40.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成25年5月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,460,349	19,023,736
受取手形及び売掛金	7,043,984	5,549,103
商品	7,816,853	9,903,722
貯蔵品	127,546	130,582
繰延税金資産	955,372	1,178,406
短期貸付金	445,000	766,024
未収入金	7,180,659	8,408,172
その他	1,142,498	1,033,498
貸倒引当金	△9,917	△4,433
流動資産合計	43,162,346	45,988,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,247,806	9,386,239
土地	6,030,803	6,859,132
その他(純額)	3,271,425	3,380,025
有形固定資産合計	17,550,035	19,625,397
無形固定資産		
のれん	19,574,539	19,799,080
その他	1,031,265	1,029,079
無形固定資産合計	20,605,804	20,828,160
投資その他の資産		
投資有価証券	2,789,730	2,585,647
繰延税金資産	946,439	956,111
敷金及び保証金	6,985,755	7,643,388
その他	4,066,340	4,536,263
貸倒引当金	△267,829	△267,829
投資その他の資産合計	14,520,435	15,453,581
固定資産合計	52,676,275	55,907,138
繰延資産		
株式交付費	1,296	—
繰延資産合計	1,296	—
資産合計	95,839,919	101,895,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,084,746	31,410,516
短期借入金	7,483,090	6,417,644
未払法人税等	2,427,308	1,584,709
預り金	7,906,269	8,120,288
賞与引当金	1,098,611	554,291
役員賞与引当金	12,929	19,096
ポイント引当金	315,919	327,218
その他	2,357,917	2,261,510
流動負債合計	45,686,791	50,695,274
固定負債		
長期借入金	8,048,584	5,414,243
退職給付引当金	1,659,245	1,786,961
その他	2,088,777	2,329,324
固定負債合計	11,796,607	9,530,528
負債合計	57,483,398	60,225,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	21,704,510	25,032,404
自己株式	△5,837	△6,047
株主資本合計	38,254,620	41,582,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,855	46,851
その他の包括利益累計額合計	57,855	46,851
少数株主持分	44,044	40,991
純資産合計	38,356,520	41,670,146
負債純資産合計	95,839,919	101,895,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	114,671,448	126,043,003
売上原価	96,918,844	106,926,020
売上総利益	17,752,603	19,116,982
販売費及び一般管理費	10,921,638	11,610,719
営業利益	6,830,964	7,506,262
営業外収益		
受取利息	55,760	56,449
受取配当金	29,100	28,152
受取手数料	48,390	13,351
不動産賃貸料	71,486	62,246
業務受託料	106,652	111,803
その他	364,069	287,148
営業外収益合計	675,459	559,152
営業外費用		
支払利息	108,890	73,223
債権売却損	56,887	64,178
不動産賃貸費用	25,118	34,311
その他	53,025	83,601
営業外費用合計	243,921	255,315
経常利益	7,262,502	7,810,098
特別利益		
投資有価証券売却益	191	49,667
固定資産売却益	10,902	4,096
受取保険金	50,000	193,941
その他	2,772	9,523
特別利益合計	63,866	257,229
特別損失		
固定資産除売却損	88,901	111,515
投資有価証券売却損	109,796	—
投資有価証券評価損	1,750	—
役員退職慰労金	320,000	—
その他	69,636	56,738
特別損失合計	590,085	168,254
税金等調整前四半期純利益	6,736,284	7,899,073
法人税等	3,068,608	3,617,788
少数株主損益調整前四半期純利益	3,667,675	4,281,284
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△22,198	△3,053
四半期純利益	3,689,874	4,284,338

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,667,675	4,281,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207,740	△11,004
その他の包括利益合計	207,740	△11,004
四半期包括利益	3,875,416	4,270,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,897,615	4,273,333
少数株主に係る四半期包括利益	△22,198	△3,053

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	101,729,833	12,567,131	374,483	114,671,448	—	114,671,448
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	66,368	66,368	△66,368	—
計	101,729,833	12,567,131	440,851	114,737,816	△66,368	114,671,448
セグメント利益又は損失(△)	8,950,081	64,433	△324,374	8,690,141	△1,427,638	7,262,502

(注) 1. セグメント利益の調整額1,427,638千円には、全社費用が1,385,034千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が89,509千円、セグメント間取引消去が△46,906千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社7社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては2,349,689千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	112,101,198	13,372,693	569,111	126,043,003	—	126,043,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	154,028	154,028	△154,028	—
計	112,101,198	13,372,693	723,139	126,197,031	△154,028	126,043,003
セグメント利益又は損失(△)	9,601,761	12,205	△331,878	9,282,087	△1,471,988	7,810,098

(注) 1. セグメント利益の調整額1,471,988千円には、全社費用が1,392,808千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が131,021千円、セグメント間取引消去が△51,840千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社9社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては1,510,250千円であります。